

彙 報

研究活動等 (2011年1月～2011年12月)

総合政策学科

黒羽 雅子

1. 報告書その他

- (1) 共著：地域研究交流センター 2011年度研究報告書『地域資源を活かしたビジネス展開の可能性について』2012年3月。
- (2) 共同編集：「三重銀行 佐合允之氏との座談会」地方金融史研究会『続地方銀行史談 第18集』2012年2月（地方銀行頭取経験者のヒヤリング実施および原稿編集、共同担当者：佐藤政則、伊藤正直）

2. 社会活動

- (1) 山梨県教育委員会「平成24年度やまなし若者中心街活性化コンソーシアム推進委員会」アドバイザー（平成24年6月～平成25年3月）
- (2) 朝日通り8社コンソーシアム（ASH8）メンバー（平成22年度9月～現在）

堤 マサエ

1. 学術論文、書評

- (1) 共著（大友由紀子と共著）、女性農業者のキャリア形成と世代移行
－水沢地方農業担い手女性塾メンバーへのフォーカス・グループ・インタビューより－
山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要 第7号 1-15頁 2012.3
- (2) 共著（大友由紀子と共著）、Aging of farmers and generational change in Japanese family farms: A focus group interview of women farmers in their sixties. The XIII World Congress of Rural Sociology Web 掲載 IRSA.20pp. Lisbon Portugal 2012.7

- (3) 共著（大友由紀子と共著）、女性農業者のライフコースからみた職業キャリアの展開－水沢地方農業担い手女性塾メンバーの場合より－『農村社会を組みかえる女性たち－ジェンダー関係の変革に向けて－』【年報】村落社会研究－48 日本村落研究学会企画 原珠理・大内雅利編 農山漁村文化協会 108-144頁 2012.10
- (4) 単著、書評 『農村-都市移動と家族変動の歴史社会学－近現代日本における「近代家族の大衆化」再考－』奥井亜紗子著、晃洋書房 2012年2月発行（村落社会研究ジャーナル 37 第19巻 第1号）54-56頁 .2012.10.

2. 講演

- 講演（単独）NPO きら星ネット主催、「女性の活動と地域活性化」2012年11月16日
びゅあ富士
- 講演（単独）NPO きら星ネット主催、「女性農業者の起業化動向」2012年12月6日
びゅあ富士

熊谷 隆一

1. 報告書（編著）

- (1) 「よつびし総研パンフレット2011-2012」(甲府城南商店街振興組合他協賛プロジェクト、3月20日発行)

2. 講演（単独）

- (1) 忍野村議会改革推進委員会主催研修会・テーマ「忍野村議会改革推進について」(8月10日、忍野村役場)

3. 評論（単著）

- (1) 「学生時代のまちづくりの実践と学習を活かして」(『甲府法人会たより第114号』、2012年4月26日発行)

4. その他

- (1) 社会的活動 (アドバイザー)
「四菱まちづくり総合研究室」教員顧問団
幹事 (2007年4月14日～、継続)
- (2) 社会的活動 (審議会委員)
「笛吹市総合計画審議会」会長 (2012年5
月～、継続)
- (3) 社会的活動 (委員会委員)
「甲州市行政改革推進委員会」会長 (2012
年9月～、継続)
- (4) 社会的活動 (アドバイザー)
「忍野村議会改革推進委員会」アドバイザー
(2012年5月～、継続)
- (5) 社会的活動 (オブザーバー)
「甲府タウンレビューチーム会議」オブザー
バー (2012年10月～、継続)
- (6) 社会的活動 (学会理事)
富士学会理事 (2009年4月1日～、継続)
- (7) 社会的活動 (研究員)
(社)神奈川県地方自治研究センター特別研究
員 (2005年4月～、継続)
- 近の金融機関と企業を事例にー」講演
- (6) 単独 (2012年5月3日) ベルリン日独セ
ンターシンポジウム「成年後見法」
(Japanisch-deutsches Symposium zum 「
Betreuungsrecht」)
セッション:「財産管理と同意留保
(Vermögenssorge und Einwilligungsvorbehalt)」
発表
- (7) 単独 (2012年6月) 日本成年後見法学会会
報『じゃがれたー』
「日台成年後見法意見交換会 (台湾法務省
内) 記録」寄稿
- (8) 共同 (2012年6月) 山梨県立大学地域研
究交流センター春季総合講座特別企画
3学部共催シンポジウム開催「あなたの老
後、どう支えますか? -市民と専門職の地域
連携を目指して-」コーディネーター・司会
- (9) 単独 (2012年11月) 『公益信託甘粕記念信
託研究助成基金とともに』(日本評論社)
「助成をいただいた研究テーマと当時の思
い出」寄稿

澁谷 彰久

1. 研究助成授与・その他

- (1) 単独 (2012年4月) 日本学術振興会科学
研究費 基盤研究C (一般) 採択 (研究代表)
テーマ:「高齢者財産管理における地域連
携モデルの研究」(継続・最終年度)
- (2) 共同 (2012年4月) 三菱UFJ信託奨学
財団平成24年度研究助成案件
テーマ:「民事信託の理論と実務の総合的
研究」採択 (研究総括・事務局担当)
- (3) 単独 (2012年1月11日) 民事信託推進セ
ンター講演会
テーマ:「預金口座の信託的機能」講演
- (4) 単独 (2012年1月29日) 東京エレクトロ
ン葦崎文化ホール・葦崎市主催
「住み慣れた地域で安心して暮らしていく
ために ~任意後見のすすめ~」講演
- (5) 単独 (2012年2月23日) 山梨県信用保証
協会研修会
テーマ:「コンプライアンスの考え方-最

佐藤 正幸

1. 研究発表

著書 (共編著)

- (1) José Rabasa, Masayuki Sato, Edoardo
Tortarolo, and Daniel Woolf (Eds.), *The Oxford
History of Historical Writing 1400-1800*, Volume
3, Oxford University Press, 727pp.

論文

- (1) Masayuki Sato, "A Social History of Japanese
Historical Writing 1400-1800," *The Oxford
History of Historical Writing 1400-1800*, Volume
3, Oxford University Press, pp.80-102.

2. 学会活動

学会発表

- (1) "East Asian Civilization and Historiography,"
The International Conference on Asian
Civilizations. (中国社会科学院、北京) 5月
28日。
- (2) "Grounding East Asian Civilization," The

International Conference on Contemporary World and East Asian Civilizations. (アサン研究所、ソウル) 6月1日。

- (3) 「キリスト紀年のグローバル化に果たしたペーダ『イギリス教会史』の役割」英米文化学会第30回大会基調講演 (山梨県立大学) 9月8日。

学会役員

- (1) Ex Officio member (as Past President) of the Board of the International Commission for the History and Theory of Historiography (2010-2015).
- (2) Editorial board member of the Berghahn series Making Sense of History.
- (3) Advisor of the Chinese Academy of Social Sciences Project Contemporary International Historiography.
- (4) 国際学術雑誌 *Historein* 査読委員。

3. 社会的活動等

- (1) 国際ロータリー日本地区機関誌編集委員 (2012年7月-2013年6月)
- (2) 甲府ロータリークラブ財団推進委員長 (2012年7月-2013年6月)
- (3) 野口賞選考委員会委員 (2012年4月-2013年3月)。

4. 競争的研究資金

- (1) 平成24年度科学研究費：基盤研究B「認識方法としての歴史と規範としての歴史に関する国際的総合研究」(平成22年-26年度、研究代表者：佐藤正幸)。

安達義通

1. 論文

単著 (2012年3月) 'An Examination of the Trans-Nationality and Applicability of Nonaka's theory in the Knowledge Management Context in the West' (『山梨国際研究』(山梨県立大学国際政策学部紀要))

2. 報告書・レポート

共著 (2012年3月) 『山梨県のコミュニティビジネスのあり方に関する研究』(山梨県立大

学地域研究交流センター 2011年度研究報告書)

単著 (2012年9月26日) 「山梨県におけるコミュニティビジネスの現状と課題」(山梨総合研究所ニューズレター)

3. 編集

- (1) 編集責任「VISION NO.2 ~山梨県立大学から地域振興を考える~」(2012年3月)
- (2) 編集委員及び執筆分担『官民連携型ソーシャルビジネスモデル提案事業』(2012年10月~)

4. 講演他

- (1) 講演 「山梨県のコミュニティビジネスの現状と課題」(やまなしコミュニティビジネス推進協議会総会) (2012年6月27日)
- (2) 講演 「コミュニティビジネスとは? ソーシャルビジネスとは?」(商工会女性部コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス研修会) (2012年10月9日)

5. 社会的活動 (委員、コーディネーター等)

- (1) 委員 (委員長) 韮崎市まちなか活性化計画策定委員会 (韮崎市商工課観光課) (2012年10月~)
- (2) 委員 やまなしコミュニティビジネス推進協議会 (2012年1月~12月)
- (3) コーディネーター 「コミュニティビジネス・ソーシャルビジネス研修会」(商工会女性部) (2012年11月6日、12月4日)

大西康雄

1. 論文

単著「地域論点への意見形成における属性効果とネットワーク効果の比較研究-山梨県一地域の地方政治ネットワークを事例に-」『山梨国際研究』 No.7 (2012) pp.21-33

2. 報告

(単独)「地域争点調査における社会ネットワーク効果見逃しの可能性について」第85回日本社会学会大会 2012年11月3日 於 札幌学院大学

3. 教科書

共著『考えるための情報処理入門』第7版、

2012年4月

4. 研究助成

研究分担者 日本学術振興会科学研究費補助金
(基盤研究C 研究課題番号: 22590581 研究代表者: 近藤 尚己)「ソーシャル・キャピタルと高齢者の健康寿命: ネットワーク分析を応用した縦断調査」

5. 講演

「情報化社会の生活術 第3回しらべる ～情報の活用、収集など～」県民コミュニティカレッジ(主催: 大学コンソーシアム山梨) 2012年12月19日 於 山梨県立図書館

6. インタビュー

「SNS利用目的を明確に(シリーズ時代をよむ)」山梨日日新聞 2012年9月18日

玉井 亮子

1. 学会活動

単独発表「フランスと日本の地方公務員制度」『日本公共政策学会』(2012年6月17日)

2. 講演

山梨県立大学地域研究交流センター・県民コミュニティカレッジ「市民と行政をつなぐもの: 地方自治の視点から」講師(2012年12月15日)

二宮 浩輔

1. 論文等

●『開発援助の環境社会配慮と環境管理』、「月刊アイソス」No.177、2012年8月 pp.78-81

2. 学会報告等

●『発展途上国における効果的な戦略的環境アセスメント～ブルンジ共和国港湾セクターマスタープランにおけるSEAを事例として』環境アセスメント学会第11回大会、2012年9月29日

3. その他

●文部科学省科学研究費助成研究『国際交流活動を通じた地域資源の発掘と活用—山梨県とカリフォルニア州における実験的研究—』

●平成24年度山梨県産学官連携海外展開促進事業『県内企業の海外展開の現状と国内事業

の発展に繋がる経営モデル調査報告書』、平成24年10月

●国際協力機構(JICA)環境社会配慮助言委員会委員 ほか

Kevin Browne

Articles:

Title: The Versant English Test

Publication: The Language Teacher

Date of publication: 7月2012年

Publisher: JALT (Japan Association of Language Teachers) Publication

Place of publication: Japan

Grants:

Grant name: TOEFL Grant for Doctoral Research in Second or Foreign Language Assessment

Project Title: Raters' accent familiarity and its effects on pronunciation scores on high stakes tests of spoken English

Issue Date: 5月3日2012年

Grant amount: US\$2,000

Grant type: merit based

Institution issuing the grant: ETS (Educational Testing Service); TOEFL Grants and Awards Committee

Institution location: Princeton, New Jersey, USA

箕浦 一哉

1. 国内学会発表

(1) 単独発表(2012年12月)「3つのサウンドスケープについての試論」日本サウンドスケープ協会2012年度秋季研究発表会、横浜市開港記念会館(横浜市).

2. 講演等

(1) 講演(2012年9月)「地域社会からの環境論～Think locally～」韭崎高等学校「夢をはぐくむ体験活動サポート事業」.

森田 玉雪

1. 論文

森田玉雪・馬奈木俊介・岡本薫(2012)「自

治体における教育成果の要因分析]、『山梨国際研究:山梨県立大学国際政策学部紀要』、第6巻、pp.129-140。

2. 報 告

- 「自治体における教育効果の要因分析」、第15回教育政策セミナー、政策研究大学院大学（2012年2月）
- 「東日本大震災後の再生可能エネルギー需要－消費者アンケートから－（中間報告）」、第17回大震災後の環境・エネルギー・資源戦略に関わる経済分析研究会、経済産業研究所（2012年7月）。
- 「研究の現場から」報告及びパネリスト、『学校と地域はどう動いたか－東日本大震災の教訓－』自治体教育政策シンポジウム、政策研究大学院大学（2012年7月）。
- 「東日本大震災後のエネルギー需要」第21回大震災後の環境・エネルギー・資源戦略に関わる経済分析研究会、経済産業研究所（2012年11月）。

3. 学会活動

- 討論者、日本経済学会春季大会（報告論文：浅野哲人・Kelly Neil・Satoshi Yamazaki “Modeling Overfishing in a Limited Entry Fishery”）北海道大学（2012年6月）。
- 討論者、日本応用経済学会秋季大会（報告論文：野田英雄・Koki Kyo “Bayesian Analysis of the Factor-Augmenting Technical Change”）明海大学（2012年11月）。

4. 研究助成

研究代表者。日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究(B))、2009～2012年度。テーマ:「世界的な資源の困り込みが進展する中での戦略的な資源政策」

5. その他

- 国際基督教大学 教養学部 非常勤講師（ミクロ経済学原論）
- 政策研究大学院大学 政策研究科 非常勤講師（教育政策分析演習Ⅰ、特定課題研究）
- 独立行政法人経済産業研究所「大震災後の環境・エネルギー・資源戦略に関わる経済分析」

委員（2011年6月～現在）

- 杉並区学校運営評議会委員（2012年10月～現在）

国際コミュニケーション学科

吉川 豊子

1. 口頭発表

2012年3月9日

広島県府中市上下町 府中上下歴史文化資料館
において
岡田美知代研究会「『一銭銅貨』と『野獣』」

二戸麻砂彦

1. 学術論文

(1) 単著「節用文字の仮名反切」(山梨県立大学国際政策学部紀要第7号 pp.01-16、2012年03月)

2. 学会講演

(1) 「六書から見た漢字と仮字」(國學院大學国語研究会前期大会、2012年07月07日)

前澤 哲爾

1. 新聞原稿

- (1) 山梨日日新聞経済面「展望台」に原稿連載
1月29日(日)「今からプラネタリウムに行こう」
3月4日(日)「美しい日本は、天災と隣り合わせの国」
4月8日(日)「映画館からフィルムが消える」
5月13日(日)「5月21日朝は金環食を楽しもう」
6月17日(日)「あなたは富士山をどれだけ知っていますか」
7月28日(土)「農家民泊・体験学習」を始めませんか。
8月25日(土)「南米の新時代が始まる」
9月29日(土)「テレビ報道を冷静に読み解く力」
11月3日(土)「人生の師 若松孝二監督を追悼する」
12月15日(土)「交通安全ステッカー」事情

2. 地域プロジェクトの実施

(1) 大学広報誌「Souffle」編集部

- ①「スフル」第2号発行のための取材・編集を行う。
会議1月19日、20日「さくら茶屋」取材。
3月7日納品、3月16日学位授与式で先行配

布。

- ②「スフル」第3号発行のため、取材・編集を行う。

説明会：7月9日・10日、会議：7月16日、30日、9月28日、10月10日、11月1日、11月26日、取材：12月19日資生堂本社など。

- (2) キャンパスキャラクタープロジェクト～「やまちゃん」の活用
オープンキャンパス、えびす講祭りなどに参加。

- (3) ドキュメンタリー映画「きょうを守る」上映支援活動

1月11日飯田講堂、13日慶応大学、2月17日一新塾、5月26日佐野市

- (4) 「フットパス around 県立大」2月22日、24日編集会議、4月「ガイドブック」完成

- (5) 農家民泊プロジェクト(創造学自主ゼミ)
説明会：10月9日・10日、会議10月17日、25日、29日、11月6日、19日。10月26日・27日丹波山視察、11月2日長野県飯田市視察、12月2日農政部講演とワークショップ、20日観光部との打ち合わせ。

3. 理事、委員などの活動

- (1) 山梨県立大学「地域研究交流センター」センター長(10年4月～)
(2) NPO「政策学校 一新塾」理事・講師(02年10月～)
(3) 「現代美術センター CCA 北九州」評議員(05年4月～)
(4) 台東区「東京ダウタウン・アートサポート懇談会」副座長(07年4月～)
(5) 「したまちコメディ映画祭 in 台東」実行委員会委員(08年1月～)
(6) NPO 大学コンソーシアムやまなし 企画運営委員(10年4月～)
(7) 山梨県広聴広報課 CM コンペ審査委員(09年6月～)
(8) 忍野村・山梨県立大学「包括連携協定推進委員会」委員長(09年7月～)
(9) NPO「先端芸術クリエイティブ・センター」理事長(10年5月～)

- (10) 山梨県工業技術センター評議員 (10年6月～)
 (11) 山梨県国民文化祭実行委員会企画委員 (10年8月～)

4. 講演・パネラーなどの活動

- 2月16日県立大サテライト教室「やまなしフットパスリンク・シンポジウム」パネリスト
 5月27日東京・韓国YMCA会館「一新塾入塾式・活動報告」コメンテーター
 6月6日山梨学院大学「やまなし学研究『観光立県』の行方第4回～山梨におけるフィルム・ツーリズムの課題と展望」
 9月6日東京・一新塾「地域プロデューサー養成講座」
 9月21日甲府第一高校「国際映画祭の光と陰」
 10月5日甲府南高校「メディアリテラシー」
 10月26日丹波山村公民館「農家民泊による地域活性化」
 11月4日東京・韓国YMCA会館「一新塾入塾式・活動報告」コメンテーター

5. メディア出演など

- 1月31日 FM甲府「生涯学習の時間」「サービスマーケティングとは」

6. 調査研究など

- (1) 教育GP「問題解決型サービス・ラーニングによる新公立大学モデル」「実施ガイドライン」「評価シート」作成。「大学キャラクタープロジェクト」、「フットパス around 県大」、「やまなし映画祭」、「放送文化論実践」の4プロジェクトを実施および評価。
 (2) 「映画鑑賞が高齢者に与える脳活性化の効果研究」(科研費 挑戦的萌芽研究)6月日本学術振興会に報告書作成・提出

山本武信

1. 新聞論説

共同通信社『にっぽん診断』全国60紙配信(北海道新聞、東奥日報、岩手日報、河北新報、山形新聞、福島民友、茨城新聞、埼玉新聞、上毛新聞、神奈川新聞、山梨日日新聞、産経新聞、中部経済新聞、神戸新聞、大阪日日新聞、高知

新聞、徳島新聞、中国新聞、日本海新聞、山口新聞、長崎新聞、宮崎日日新聞、熊本日日新聞、琉球新報、沖縄タイムズ等々に掲載)

- (1) 「ブータンの豊かさの鍵－GDPからGNHへの転換」2012年1月
 (2) 「危機を乗り越える勇気－世界経済、共生の道を」2012年2月
 (3) 「入社後に待つ過酷な職場環境－若者の使い捨てをやめよ」2012年3月
 (4) 「根強い縁故採用の弊害－後進性の象徴としての偽装」2012年4月
 (5) 「実力二の次『公募偽装』も－学問の良心に反する不公正」2012年5月
 (6) 「持続可能な社会の要は儉約－技術文明の矛盾の象徴である原発」2012年6月
 (7) 「失敗した国の大学政策－教育の原点に立ち返れ」2012年7月
 (8) 「ナショナリズムを超えて－EUに学ぶ共生の論理」2012年8月
 (9) 「乱立し二極分化、学歴差別も－大学危機の現状と展望」2012年9月
 (10) 「新聞に期待する権力監視－ネット無政府主義に抗して」2012年10月
 (11) 「便利なネットの落とし穴－苦勞して人間は成長する」2012年11月

王 若江

【論文】

- 1、“关于对外汉语语音教学理念的思考”，日本《山梨国际研究》2012年3月。
 2、“论汉语教材的国别性特征”，《第十届国际汉语教学研讨会论文集》，2012年，中国辽宁教育出版社。

【学术会议参加】

- 1、2012年2月10-12日 参加“汉字与汉文在东亚文明发展中的价值与功能”国际会议，提交论文“十八世纪琉球汉语教材《百姓官话》研究”，中国北京。
 2、2012年8月16-18日 参加第十一届国际汉语教学研讨会，提交论文“汉语教师短期语音培训的重点和难点”，中国西安。

安藤 淑子

1. 論 文

- (1) 単著「外国人学校生徒の日本語語彙習得に見られる表記の特徴～文字表記の選択に見られる課題～」(2012年3月)『山梨国際研究 山梨県立大学国際政策学部紀要』第7号 pp.73-79
- (2) 共著「遠隔授業におけるタブレット端末を利用した教材提示の方法とシステム開発」(2012年3月)『情報処理学会研究報告』No9 pp.1-8
- (3) 共著「多様なコミュニケーション手法を用いた遠隔日本語授業システムの開発」(2012年3月)『情報処理学会研究報告』No10 pp.1-7
- (4) 単著「サービス・ラーニングを取り入れた日本語教員養成課程カリキュラム～地域社会の課題改善に向けた学生の実践的学び」(2012年3月)『大学日本語教員養成課程連絡協議会論集』第6号 pp.26-35

2. 報 告 書

- (1) 共著『平成23年度課題対応型SLによる公立大学新教育モデル』(2012年3月)文部科学省大学教育・学生支援推進事業・山梨県立大学サービス・ラーニング開発センター

伊藤ゆかり

1. 論 文

- (1) 単著(2012年3月)「ケネディ劇における回想」、山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第7号、pp.80-89

高野美千代

1. 論 文

- (1) 単著(2012年3月)
「Sir William Dugdale を取り巻くアンティークエリー理解者たち～*The History of St. Paul's in London* (1658) の出版に関して～」
山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第7号、90～99頁

2. 発表その他

- (1) 英米文化学会第30回大会(2012年9月9日、

於 山梨県立大学)

研究発表[単独]「17世紀アンティークエリーの系譜における歴史観の変遷」

- (2) 科研費による国際研究集会(2012年10月25日、於 甲府市談露館)
研究発表[単独]「18世紀英国における17世紀書物の受容」

張 兵

1. 著 書

- (1)『図説アジアの地域問題』(単著)時潮社 2012年3月

2. 論文・報告書・コラム

- (1)「中小企業の海外進出の動向と課題についての一考察」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第7号 2012年3月
- (2)「山梨企業の中国進出の動向と課題」『山梨県立大学地域研究交流センター 2011年度研究報告書』2012年3月31日
- (3)「図們江国際協力モデル区設立、中国東北部ビジネスにプラス」『中国ビジネスヘッドライン』2012年5月30日
- (4)「増え続ける中国在留邦人とその特徴」『中国ビジネスヘッドライン』2012年6月20日
- (5)「中国にいる日本語人材と日本人留学生の活用も重視せよ」『中国ビジネスヘッドライン』2012年7月12日
- (6)「若者の留学支援—学費や就職の心配解消を」『朝日新聞』2012年8月2日
- (7)「中国の賃上げをポジティブに捉えて対応すべき3つの理由」『中国ビジネスヘッドライン』2012年8月28日
- (8)「今中国ビジネスを諦めるのは時期尚早である3つの理由」『中国ビジネスヘッドライン』2012年9月21日
- (9)「県内企業の海外展開の現状と国内事業の発展に繋がる経営モデル」(共著)『平成24年度山梨県産学官連携海外展開促進事業報告書』2012年10月

3. 学会・研究会発表

- (1)「山梨企業の中国進出の動向と課題」山梨

県立大学地域研究交流センター報告会 2012年3月23日山梨県立大学

- (2) 「中国進出日系外食企業の立地に関する考察」中国経済学会学術研究会東日本部会 2012年11月17日日本大学

4. 社会貢献

第9回やまなし留学生スピーチコンテスト審査員

戸田 徹子

1. 論文

単著 (2012年3月) 「ジョン・H・デフォレストの『夫婦大学』と『親子大学』」山梨県立大学国際政策学部紀要『山梨国際研究』第8号、pp. 64-72

2. 翻訳

『エルウィン・インスティテュート歴史資料館』(ブックレット)、2012年12月

3. 海外調査等

- (1) 「米国フレンズ奉仕団の研究」資料調査、サンフランシスコ支部、2012年2月
 (2) 「米国フレンズ奉仕団の研究」資料調査、フィラデルフィア本部、2012年9月
 (3) 「滝乃川学園開設120周年記念米国視察団」資料調査、フィラデルフィア、2012年9月

名和 敏光

1. 論文

- (1) 論文「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の構造と思想1」『中國新出資料學の展開』(第4回日中學者中國古代史論壇)、2012年5月、財團法人東方學會・中國社會科學院歴史研究所、日文、198～209頁。
 (2) 論文「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の構造と思想2」『東アジア世界の「知」の傳統：科學と思想、宗教のあいだ』(第1回 Templeton 東アジアの科學と宗教國際ワークショップ 東アジア世界の「知」の傳統：科學と思想、宗教のあいだ)、2012年6月、韓國ソウル大學、日文・韓文、87～100頁。

2. 學會報告、その他

(1) 大學院講義：「關於馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇的資料特徵」2012年1月3日、清華大學出土文獻研究與保護中心、北京市清華大學。

(2) 國際學會報告：「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の構造と思想1」『中國新出資料學の展開』(第4回日中學者中國古代史論壇)、2012年5月25日、財團法人東方學會・中國社會科學院歴史研究所、日本教育會館。

(3) 國際學會報告：「馬王堆漢墓帛書《陰陽五行》乙篇の構造と思想2」『東アジア世界の「知」の傳統：科學と思想、宗教のあいだ』(第1回 Templeton 東アジアの科學と宗教國際ワークショップ 東アジア世界の「知」の傳統：科學と思想、宗教のあいだ)、2012年6月21日、韓國ソウル大學。

3. 國際學會參加・海外調査

(1) 大學院講義・北京調査旅行：「清華大學出土文獻研究與保護中心大學院」中華人民共和國北京市清華大學・他、2011年12月27日～2012年1月6日。

(2) 北京調査旅行：2012年3月12日～19日、中華人民共和國北京市北京大學等。

(3) 國際學會參加・報告：「中國新出資料學の展開」(第4回日中學者中國古代史論壇)、2012年5月25日、財團法人東方學會・中國社會科學院歴史研究所、日本教育會館。

(4) 國際學會參加・報告：「東アジア世界の「知」の傳統：科學と思想、宗教のあいだ」(第1回 Templeton 東アジアの科學と宗教國際ワークショップ 東アジア世界の「知」の傳統：科學と思想、宗教のあいだ)、2012年6月20～25日、韓國ソウル市ソウル大學。

(5) 北京調査旅行：2012年8月30日～9月6日、中華人民共和國北京市北京大學他。

4. 學會役員・その他

(1) 中國出土資料學會理事、2008年4月1日～現在。

(2) 大東文化大學人文科學研究所兼任研究員、2005年4月1日～2012年3月31日(研究代表者：池田知久教授退職のため)。

(3) 東京大學東洋文化研究所研究班「中國古代

文献の成立に関する多角的研究」研究員、研究代表者：小寺敦准教授、2009年4月1日～現在。

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/project/group.html> 参照。

(4) 京都大学人文科学研究所術数学研究班「術数学—中国の科学と占術」研究員、研究代表者：武田時昌教授、2011年4月1日～現在。
<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/> 参照。

(5) 研究協力者：平成24年度科学研究費補助金（若手研究(B)）平成24～28年「日本中世漢籍受容の歴史的研究」（研究代表者：高田宗平（国立歴史民俗博物館）研究課題番号：24720311）、2012年4月1日～2016年3月31日。

<http://kaken.nii.ac.jp/d/p/24720311.ja.html> 参照。

吉田 均

1. 著作（計3件）

(1) 受賞

1) 山梨県立大学国際政策学部吉田均研究室：代表吉田均、2012年3月、「ユニバーサルデザインの観光への応用による地域振興活動」『平成23年度やまなしユニバーサルデザイン表彰』受賞。主催：山梨県。

(2) 論文ほか

1) 吉田均・石田幸司・吉田恵貞、2012、「山梨県における多言語自動音声翻訳技術の可能性と課題」、『山梨国際研究』7号（2012年）、山梨県立大学。

2) 吉田均・塚田涼子ほか、2012、「山梨県における中国系企業誘致の可能性に関する研究」、『中国関係論説資料 第4分冊（歴史・政治・経済Ⅱ）増刊』52号（平成22年分）、論説資料保存会。

2. 発表・講演（計4件）

(1) 講演会など

1) 吉田均（2012年9月4日）「JICA 草根技術合作、四川省温泉活用之旅游产业振兴促

灾后重建事业、3年合作事业成果（邦訳：JICA 草の根技術協力、四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業、3年間の事業実績）」『成都市龍門山温泉資源開発和旅游恢復合作項目研讨会（邦訳：成都市龍門山地域における温泉資源開発と旅行復興協力プロジェクトに関する研究討論会）』（2012年9月4日）、成都市旅游局・山梨県観光部（日本国際協力機構（JICA）助成）。

2) 吉田均（2012年1月30日）、「自治体の国際戦略～相互利益のある海外自治体交流へ」『グローバル展開勉強会』、群馬県国際課。

3) 吉田均（2012年10月18日）、「姉妹都市交流から経済交流への試み」『平成24年度これからの地域の国際化施策の新たなデザイン～地域の国際化基礎コース～』、全国市町村国際文化研修所。

4) 吉田均（2012年11月15日）、「パートナーシップ協定を生かした海外自治体との経済交流」『グローバル展開勉強会』、群馬県国際戦略課。

3. 社会貢献（計5件）

(1) 公設委員会など

1) 「甲府市観光振興計画推進会議」委員（副会長）、甲府市、平成23年8月26日～平成25年8月25日。

2) 「四川省の温泉を活用した観光産業振興による被災地復興事業」山梨県委員会委員（委員長）、山梨県観光部国際交流課、平成22年7月29日～平成25年3月31日。

3) 「平成23年度富士北麓地域MICE研究会」（会長）、山梨県企画課、平成24年度。

4) 「笛吹市観光振興アクションプラン推進会議」委員（副会長）、笛吹市、平成24年3月19日～平成25年3月18日。

(2) 民間団体委員会、アドバイザーほか

1) 国際協力機構（JICA）山梨県地域国際協力サポーター、独立行政法人国際協力機構広尾センター、平成23年4月1日～平成24年3月31日。